

【保護者用】

## 市内小学校の再編整備に関するアンケート調査について

## 1 市内の児童数へ減少しています。

令和7年度現在の市内小学校児童数は、1,193人です。6年後の令和13年度の推計は、879人となり、6年間で314人減少する見込みです。

学校の小規模化が進むことで、教育活動や学校の運営に支障を来す恐れがあります。そのため、教育委員会では子どもたちの将来を見据え、小規模化を解消するために、今回のアンケートによる意見を参考にしながら、小学校の適正配置、適正規模を進めて参ります。

## 市内小学校の児童数の推計（住民基本台帳より）

（単位：人） 実績← →推計（令和7年5月1日現在の実績及び住民登録からの推計）

学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	年後の増減数
塩山南小学校	345	348	341	333	335	337	328	-17
塩山北小学校	99	93	94	92	90	89	87	-12
奥野田小学校	108	96	93	90	90	93	92	-16
大藤小学校	38	36	34	36	38	36	30	-8
神金小学校	28	27	26	23	27	30	27	-1
玉宮小学校	22	23	23	22	20	18	16	-6
松里小学校	105	100	97	89	80	62	59	-46
井尻小学校	68	61	49	45	41	42	43	-25
勝沼小学校	126	110	98	91	77	68	50	-76
祝小学校	68	63	48	51	49	46	40	-28
東雲小学校	99	92	75	78	68	58	59	-40
菱山小学校	46	47	44	40	35	36	31	-15
大和小学校	41	37	30	30	25	24	17	-24
計	1,193	1,133	1,052	1,020	975	939	879	-314

## 2 学校の規模（児童数、普通学級数）の現状と将来推計について

甲州市には、現在小学校が13校ありますが、その多くは、クラス替えができない。複式学級（児童数が少ないため、2学年が1つの教室で勉強する。）が発生しています。

令和7年度現在			(普通)		
学校名	児童数	学級数			
各学年で2学級以上の編成ができる					
塩山南小学校	345	17			
全学年でクラス替えができない					
塩山北小学校	99	6			
奥野田小学校	108	6			
松里小学校	105	6			
井尻小学校	68	6			
勝沼小学校	126	6			
祝小学校	68	6			
東雲小学校	99	6			
菱山小学校	46	6			
複式学級が存在する					
大藤小学校	38	4			
神金小学校	28	4			
玉宮小学校	22	4			
大和小学校	41	4			

6年後  
推計

令和13年度推計		
学校名	児童数	学級数
各学年で2学級以上の編成ができる		
塩山南小学校	328	17
全学年でクラス替えができない		
塩山北小学校	87	6
奥野田小学校	92	6
松里小学校	59	6
勝沼小学校	50	6
東雲小学校	59	6
複式学級が存在する		
大藤小学校	30	4
神金小学校	27	4
玉宮小学校	16	4
井尻小学校	43	5
祝小学校	40	4
菱山小学校	31	4
大和小学校	17	4

※小規模校のメリット、デメリットとしては、以下のようなことが挙げられています。

	メリット	デメリット
学習面	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。  1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
	学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
生活面	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 異学年間の縦の交流が生まれやすい。	クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。
	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。
学校運営面・財政面	全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 学校が一体となって活動しやすい。	教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行っていく。 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。
	施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。
その他	保護者や地域社会との連携が図りやすい。	PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

出典：文部科学省ホームページ 中央教育審議会・初等中等教育分科会「小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会」資料

ここからアンケートになります。

本アンケートは、市内小学校の再編整備について伺うものです。現在通学している子どもたちはもとより、これから入学する子どもたちの教育環境をより良いものとするために、アンケートへのご協力をお願いいたします。

ご不明な点は、教育総務課教育総務担当までお問い合わせください。（TEL 32-1412）

問1 お子様の通学している小学校を教えてください。

問2 お子様の学年を教えてください。

問3 小学校の再編整備についてお考えを教えてください。

- 1 全小学校で再編を検討すべき → 問3-1へ
- 2 段階的に再編を検討すべき → 問3-2へ
- 3 小学校の再編整備は必要ない → 問3-3へ
- 4 わからない → 問4へ

問3-1 問3で「1 全小学校で再編を検討すべき」を選択した方

今後、進めることで期待できること（特に期待できること3点）を教えてください。

- 1 小規模校（複式学級やクラス替えができない）の解消につながる
- 2 子どもたちの交友関係の幅が広がる
- 3 運動会やマラソン大会などの学校行事に活気がでる
- 4 集団活動やグループ活動の幅が広がり多様な学習形態がとれる
- 5 多様な意見に触れる機会が多くなり授業の質が向上する
- 6 切磋琢磨することを通じて社会性や協調性を育む
- 7 児童生徒数が増えることで教員の配置が充実する
- 8 その他

問3-2 問3で「2 段階的に再編を検討すべき」を選択した方

具体的な時期を教えてください

問3-3 問3で「3 小学校の再編整備は必要ない」を選択した方

具体的な理由について近いものを教えてください。

- 1 現在の教育環境に問題を生じていないと思うため
- 2 地区の学校がなくなることが寂しいため
- 3 再編整備のメリットが感じられないため
- 4 その他

問4 小学校の再編整備について特に配慮してほしい点を教えてください。

※問3で「3 小学校の再編整備は必要ない」と回答した方は回答不要です。

- 1 遠距離となった場合の通学手段（スクールバスの手配）
- 2 教員の配置（統合前の教員の継続配置）
- 3 学校の施設整備（教育環境の充実）
- 4 一定の規模（児童数及び学級数）の確保
- 5 学校の跡地利活用
- 6 地域や自治会を分断しない
- 7 体操服など統一学用品の取扱い
- 8 特にない
- 9 その他

問5 その他、学校再編整備についてご意見ご要望を自由に記入してください。